

次の特定家畜伝染病のうち，疾病の急速かつ広範なまん延を防止するため，家畜伝染病予防法に基づく予防的殺処分が認められているのはどれか。

1. 口蹄疫
2. 牛疫
3. 豚熱 (CSF)
4. 高病原性鳥インフルエンザ
5. 牛海綿状脳症 (BSE)

人口動態の指標に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 出生率（粗出生率）は、1年間の出生数をその年の10月1日の総人口で割ったもので、人口10万対で表されるのが一般的である。
2. 合計特殊出生率は、15～49歳の女性の年齢別出生率の総和で、1人の女性が一生の間に生む子どもの数を表す指標として用いられる。
3. 総再生産率は、1人の女性が、出産時の年齢にかかわらず一生の間に生む子どもの数で、合計特殊出生率よりも大きな値となる。
4. 純再生産率は、人口が翌年に増加するか減少するかが分かる指標である。純再生産率が、ある年に1未満になると、その翌年に人口が減少する。
5. 新生児死亡率は、1年間の出生数に対する、生後1週未満の死亡数の割合であり、乳児死亡率よりも小さな値となる。